

Core Expressive
Xmas Charity Concert

クリスマス・チャリティ・コンサート
～「聖グレゴリオの家」活動支援のために～

◆ 演奏 / 「コーロ・エスプレッシェーヴォ」

指揮: 池田 龍亮
伴奏: 平岩 政子

◆ 客演 / 聖グレゴリオの家聖歌隊

「カペラ・グレゴリアーナ」

指揮: 橋本 周子

2012年12月16日(日)

18:40 開場 / 19:00 開演

■ 入場料: 1,000円 / 全席自由 (小・中学生: 無料、高校生: 半額)

■ 渋谷区文化総合センター大和田・伝承ホール

JR渋谷駅(モアイ像側)より徒歩5分: 案内図裏面

※ 駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい。

Photo: Aflo

■ 主な演奏曲目

◆ ラターのキャロル集から

Deck the Hall
Angel's Carol
The Twelve Days of Christmas 他

◆ クリスマスのポピュラー・ソングから

Jingle Bells Rock
Grownup Christmas List
White Christmas 他

◆ 「カペラ・グレゴリアーナ」客演ステージ

グレゴリオ聖歌: クリスマスの典礼より
聖なる光は今日...アレルヤ
コルトナ写本より: Da ciel venne (天から新しい知らせを) 他

◆ 東日本大震災の復興を祈って

MI・YO・TA (御代田)
明日という日が

◆ 皆で歌うクリスマス

赤鼻のトナカイ
きよしこの夜 他

■ 主催 / コーロ・エスプレッシェーヴォ

■ 協賛 / 聖グレゴリオの家 賛助会

■ お問い合わせ

聖グレゴリオの家 賛助会事務局 / 042-474-8915

コーロ・エスプレッシェーヴォ 池田 / 044-852-0225

■ コーロ・エスプレッシーヴォ

1993年夏、群馬県の名山麓にある社会福祉法人『新生会』の高齢者ホームに入居されている皆さまに歌をお届けするため、有志の合唱仲間が集まり、現地を訪問して演奏会を行いました。以来、この演奏会は毎年初夏の海の日の週末の活動として定着し、約20年間にわたり歌声ボランティア合唱団「コーロ・エスプレッシーヴォ」の活動の中心となっています。

また、夏の『新生会』での演奏活動に加えて、東京・神奈川地域における歌声ボランティア活動も、活発に行っています。

今年7月には東日本大震災と原発被災に苦しむ福島県の二本松市と南相馬市を訪れ、仮設住宅の皆さまを対象とした復興支援の演奏会を行いました。9月には『群馬いのちの電話』開局20周年記念事業の一環として『群馬いのちの電話』のためのチャリティ・コンサートを前橋テルサ・ホールで行いました。



『聖グレゴリオの家』の活動支援のためのクリスマス・チャリティ・コンサートは、2010年から始まり、今年は3回目の演奏会となります。

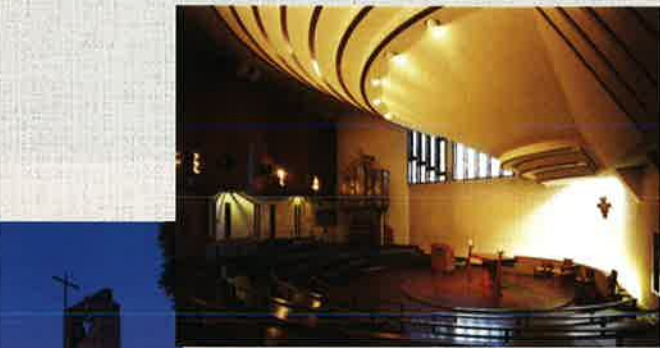
合唱団は、現在30名で構成される混声合唱団となっています。「コーロ・エスプレッシーヴォ」という名称は、「情感豊かに」という意味の音楽用語から採られており、私達の演奏の目標を示しています。

この合唱団の目的は、その活動を通じて自然に定まってきたものですが、『ボランティア演奏活動で、多くの皆さまと音楽の感動を分かち合い、それを通じた心の触れ合いと平安を作り上げたいこと』にあります。

■ かべら・グレゴリアーナ

聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所の研究部門の一つ。聖歌隊とソリスト達による声楽アンサンブル「ファヴォリット」の二つの組織がある。音楽監督、橋本周子の指導の下、ローマ・カトリック教会のみならずキリスト教他宗派の音楽や新たに作曲された曲などを、日々の典礼の中で実際に歌いながら、典礼音楽を通して西洋音楽の根源をたどり、その本質を求め続け、現代における宗教音楽の可能性を探ることを目的として活動している。

グレゴリオ聖歌の古記譜法に基づく演奏の研究に力を注ぎ、ゴデハルト・ヨッピヒ氏の指導を受け、彼の指揮の下に連続してCD録音を行っている。2008年、2011年7月にハンガリーのヴァーツにおける国際グレゴリオ聖歌フェスティバルに出演し、その演奏は高く評価された。



■ 聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所について <http://www.st-grerorio.or.jp>

聖グレゴリオの家は、1979年9月に独立宗教法人として設立され、祈り、研究、教育という3本の柱から成り立っています。その目的は、祈り、典礼を祝いながら、教会音楽の研究、保存と普及、そして教育をすることにあります。この家は、ケルン大司教区をはじめ、創設者故ゲレオン・ゴールドマン神父(フランシスコ会フルダ管区)を知るヨーロッパの方々の献金によって建設され、その後の運営もこの方々をはじめとする多くの方の援助と祈りに支えられて参りました。ゲレオン神父亡き後この家の存続を心配し、理事長の役と日本との窓口となっていたゲレオン神父の布教事務所を引き継いで下さったのは、ドイツ・ミュンヘン・ベネディクト会ザンクト・オットーリエンのエレミアス・シュレーダー大修道院長でした。また2005年にはローマ教皇庁教育聖省によって、聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所とレーゲンスブルグ教会音楽・教育音楽大学との提携が認可され、それによって日本でもドイツの教会音楽家の資格を取得できるようになりました。さらにこの研究所は、世界を包含するカトリック教会の音楽伝統に結びつき、国際的修道会であるフランシスコ会やベネディクト会と密接に連携し、世界に通用する研究所であると認定されました。当初から宗教、宗派を超えて(エキュメニカル)相互の交流を大切にしながら、日本における教会音楽の可能性を追求しております。

聖グレゴリオの家・宗教音楽研究所所長 橋本 周子

コーロ・エスプレッシーヴォ クリスマス・チャリティ・コンサート ～「聖グレゴリオの家」活動支援の為に～

2012年12月16日(日)
18:40 開場 / 19:00 開演

入場料:1,000円 / 全席自由 (小・中学生:無料 高校生:半額)

■ お問合せ 聖グレゴリオの家 賛助会事務局 042-474-8915
コーロ・エスプレッシーヴォ 池田 044-852-0225



※駐車場はありませんので公共交通機関をご利用下さい。